

人とのふれあい どうぶつとの触れ合い



神戸マラソンは、今年で **2年ぶり2回目**の参加です。

2年前、自己記録を更新した相性のよい大会、スタート前から気分は最高！そして、スタート前のセレモニー。小学6年生のときに経験した阪神・淡路大震災、大人になりボランティアに参加した東日本大震災。復興を祈念して走ろう、あきらめずに走ろう、そう思えるセレモニーでした。実際、走っているときも「諦めない」「強い心を！」と思い、走りました。途中、熊本から来られたランナーとも出会い、「がんばりましょう」と互いに励まし合いました。

そして、沿道からのあたたかい声援、ハイタッチ、しんどいときの一步を踏み出す力をいただきました。

多くの方とふれあい、多くの力をいただくことができた 42.195kmになりました。



どうぶつ

ゴールでは、家族に迎えられ、無事に完走することができました。そして、その後は、以前から、子どもたちがラクダや馬に乗りたいと行きたがっていた神戸どうぶつ王国へ。以前は、急遽行けなくなったこともあり、子どもたちは楽しみにしていました。

どうぶつ王国の入園には同封されていたクーポンを活用しました。どうぶつ王国では、ワオキツネザルやカンガルー、ナマケモノといった多くの動物が、柵のない状態で見ることができ、動物との距離がものすごく近く、楽しむことができました。また、子どもたちも、馬やラクダに乗ることができ、たくさんのどうぶつと触れあうことができました。私自身も、マラソン完走後でしたが、動物たちと触れ合うことで、癒されました。思わず疲れを忘れて楽しんでいました。

その後は、フィニッシュ地点で制限時間ぎりぎりのランナーを応援しました。



これまで、マラソンを走った後は、疲れからすぐに帰宅することが多かったのですが、このような疲れのとり方もあるということを知ることができました。神戸マラソンを通じて、多くの人とふれあい、どうぶつと触れ合い、**42.195km+1（プラスワン）の楽しみ方**を経験することができました。